令和５年度

介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間　６月１５日～１１月２２日

～私たちは介護のプロを応援します～

（公財）介護労働安定センター
鳥取支部

掲載している写真・氏名等の個人情報につきましては、予めご本人の承諾を得て掲載しています。

修了者へ贈る言葉

令和5年度介護労働講習（実務者研修を含む）の23名の受講者の皆様、修了まことにおめでとうございます。令和5年度の講習が始まる1か月ほど前、新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられ、コロナ前の“本来の講習”の形での受講が可能となり、皆様は目標に向けて、明るく、粘り強く半年間を仲間とともに過ごされました。

修了式での皆様一人ひとりのスピーチは、仲間への思い、今後への思い、周りの方々への感謝の言葉にあふれており、深く感銘を受けました。

これからは、それぞれの環境で、講習での学びをもとに、現場での新しい学びを積み重ねて、利用者様の笑顔のために尽力されることと思います。

“Bloom where God has planted you”（置かれた場所で咲きなさい）は私の好きな言葉の一つです。これは、その場所で我慢しなさいという意味では決してなく、「自分のいる場所を受け入れて最善を尽くすという姿勢を表しており、それが自分を幸せにし、そのことが自分の周りの人も幸せにすることに繋がる」という意味だと思います。

23人23色の素敵な花が咲くことを信じております。

鳥取支部職員一同

講　習　風　景

開講式

高齢者疑似体験

座学

講　習　風　景

医療的ケア

生活支援技術

講　習　風　景

介護過程Ⅲ　実技

就職面接会

レクリエーション

講習を終えて

今年も多くの受講者が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

様々な施設の講師から、講習を受けるという貴重な機会をいただき、大変感謝しております。沢山のエピソードや考えをお聞きし、自分の考え方、物事の捉え方、視点の持ち方について改めて考え直すことができたと思います 。

あっという間の半年間でした。講習で学んだ理論に裏付けられた知識や技術を実践していけるように努力をしていきたいと思います。まずは介護福祉士を目指していきます。

正しい知識を得ることで、これから介護職に就き、困ったことがあっても、対処方法はあるという安心感を持つことができました。

講習は自分と同じで未経験の方が多く、皆良い方で助け合いながら、修了評価試験を合格することができました。介護の現場と同じ多職種連携、チームワーク等を実際に感じることができ、とても貴重な時間になりました。

講習を受けて最も変化したのが視点です。認知症の方のイメージは周囲を「困らせる人」でしたが、受講していくにつれ、「困っている人」と変化しました。これから介護職に就きます。利用者様やご家族の気持ちに寄り添って仕事をしたいです。

ここで学んだことを活かしながら、長く介護の世界で働き続けたいと思います。色々と良い学習ができたと思います。入講したころより人とコミュニケーションが取れるようになり、自分自身が成長できたと思います。

就職先を訪ねて

平成元年度修了者
中島　雅紀さん
中島　正子さんご夫婦

ダルマ合同会社　放課後等デイサービスみつぼし

介護労働講習で学んだことは？

実践と違い、介護において必要な知識や介護におけるルールを学べました。
認知症は4種類に分けられますが、同じ症状でも一人ひとり違いますので、その人に合った介護（介助）を心掛けるよう接することが必要なのだと、新たに介護をするうえで利用者を尊重し携わろうと思いました。医療的ケアの喀痰吸引や経管栄養について、簡単に考えていましたが、命にかかわる大事なものだと教えていただき、講師の真剣に学んでもらいたい気持ちも伝わり、介護の仕事がいかに大切なのか気づかせていただきました。

実際に介護の仕事に就かれた感想は？

今回の介護労働講習（実務者研修を含む）を受講する前からの経験者でしたが、初めは戸惑いばかりで、利用者の方たちを数か月は見守ることしかできなかったですが、先輩職員の方たちと同じ介護をすることで、毎日が充実して楽しく仕事をすることができました。利用者の方に、「こんな年寄り相手にしても、楽しくないだろうに、わざわざ苦労する仕事に就かんでもいい」と言われたこともありました。自分にとって介護とは天職だと思います。

講習内容などについてのご感想は？

講師の方々もユニークな方たちばかりで、とても分かりやすく吸い込まれるように学べたと思います。時には反発したこともありました。講師の方はわかっていても、初めて学ぶ受講者には理解できないことだらけだと思います。今思えば、講師の方々は時間のない中、精一杯伝えようとしていたことに気づき、反省もしています。数年たった今でも介護労働講習（実務者研修を含む）で学んだことを思い出すこともあります。とても充実した講習でした。

～～～事業主になってみて～～～

ダルマ合同会社　放課後等デイサービスみつぼし　　管理者　中島　雅紀
中島　正子

事業所を設立しようと思ったきっかけはなんですか？

当初は、介護施設の設立を考えていましたが、地域に介護施設はあり、諦めていたところに町の福祉課の担当者から障害の施設が足りない、今一番必要な施設は障害児の受け入れができる施設というお話を伺い、子どもと関われる施設を設立するのも良いなと考え、即決で決めました。 行き場のない児童と、安心して過ごせる場のない保護者の不安を少しでも解消できるなら、何も迷う必要もないなと思いました。

事業主になってみて

ダルマ合同会社　放課後等デイサービスみつぼし　　管理者　中島　雅紀
中島　正子

実際に事業を展開している感想は？

最初は不安だらけでスタートを切ったのですが、子どもたちから笑顔と元気を沢山もらいながらできるこの事業は、自分達にとって沢山の気づきと、成長をさせてもらえる素晴らしい仕事だと思います。今後は介護も視野に入れて、介護福祉と障害福祉がともに共生して過ごせる事業所を展開していきたいと考えています。

これから受講される方へメッセージをお願いします

何事にも、チャレンジしてみることはとても大事なことだと思います。
自分に向いてないと決めるのではなく、まず飛び込んでみる気持ちが大事だと思います。
どんなことにも失敗はつきものです。自分を成長させるのにも失敗が無ければ成長もありません。これからの受講は、チャンスを掴むための第一歩と思い、楽しんで学んでください。